

学校支援ボランティアの活動を支援するコーディネーターの養成等に関する調査研究

研究代表者 服部 英二（社会教育実践研究センター長）

1 調査研究の趣旨・背景

平成 20 年 7 月に策定された国の教育振興基本計画では、基本的な方向の一つとして、「学校・家庭・地域の連携協力を強化し、社会全体の教育力の向上に取り組む必要性」を提示している。すでに、地域ぐるみで学校を支援し、子ども達を健やかに育む活動については、学校支援地域本部事業や地域住民の積極的なボランティア活動等が各地で始まっている。こうした取組が全国の全ての地域で行われるためには、地域の様々な団体や個人の力を生かし、地域が学校を支援する仕組みとして、学校と地域住民や団体をつなぐコーディネーター役が必要であり、現在その育成が強く求められている。

当センターでは、平成 19 年度に「学校支援ボランティア活動の推進に関する調査研究」を行い、平成 20 年度は、「学校支援ボランティアの養成・資質向上のためのモデル研修プログラム」の研究開発に取り組んだ。これらの調査研究において、学校支援ボランティア活動を推進するためにはコーディネーターの果たす役割が非常に大きいことが示された。また、学校支援地域本部事業においても、事業の中核として「地域コーディネーター」が配置され、学校とボランティアとの連絡調整はもとより、地域社会の様々な人材や団体、施設を結びつける連携推進役として期待されている。

そこで、平成 21 年度は、社会教育におけるコーディネーターの養成に関するこれまでの先行研究と聞き取り調査による実践事例の分析（ケーススタディ）に基づき、学校支援ボランティアの活動を支援するコーディネーターの養成研修プログラムを開発した。

2 調査研究の概要

(1) 研修プログラムの目的と構造

平成 20 年度に「社会教育を推進するコーディネーターの役割及び資質向上に関する調査研究」を実施し、学校支援コーディネーターの養成のための研修プログラムの構造モデルと、それに基づくモデル研修プログラムを示している。この先行調査研究を参考にしながら、コーディネーター養成研修プログラムのテーマ、内容、方法等を再考し、実際に現場で活用できるモデルプログラムを目指し、開発に取り組んだ。

コーディネーター養成研修プログラム開発の目的は、コーディネーターが研修を通して知識・技術上の自信を得て、安心して学校支援ボランティアの活動を支援できるようにすることである。平成 20 年度に行った「学校支援ボランティア活動の推進方策に関する調査研究」からは、コーディネーターの役割は学校支援ボランティアを支援し、学校と地域の連携・協力の関係を引き出す上で極めて大切であるということが示された。このことを踏まえ、コーディネーターに必要な知識・技術を次の三つの領域とした。

- ① コーディネートの技法（コミュニケーションの技法を含む）

人間関係のつくり方やグループへの働きかけ方などのコミュニケーション力の強化、地域の教育資源（人、団体、施設等）の把握と連携、ボランティアへの助言・提言などについての知識・技術の習得

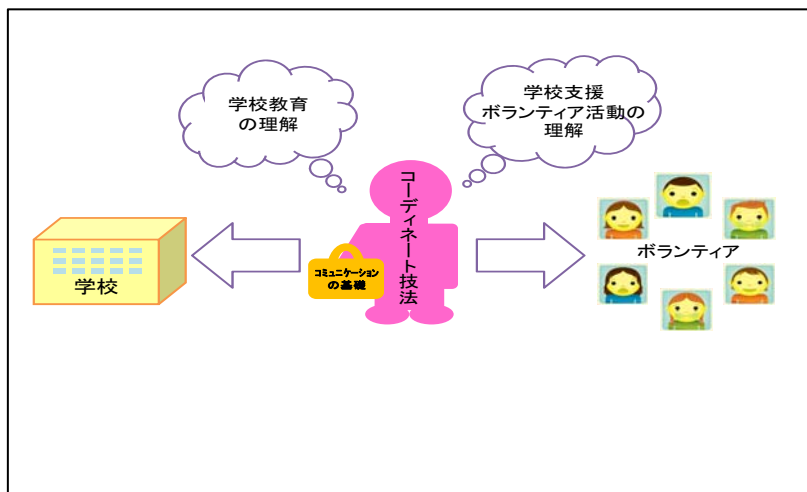
② 学校教育への理解

学校運営の仕組み、児童・生徒の特性、授業のあらまし、学校生活の流れなどについての知識の習得

③ 学校支援ボランティア活動の理解

生涯学習活動としての位置付け、ボランティア活動の実際と留意点などについての知識の習得

これらの領域の構造的な組立てを示したのが（図1）である。中心にコーディネート技法を置き、実際の業務を進める上で必要となるコミュニケーション・スキルを付随する技能と位置付けた。また、学校支援ボランティア活動の理解と学校教育の理解を研修の基礎領域とした。



【図1】コーディネーターに必要な知識・技術の基本構造

(2) 研修プログラムの内容

研修プログラムのモデルを開発するにあたり、都道府県、政令指定都市で実施されている学校支援ボランティアのコーディネーター研修（9事例）について、ケーススタディを行い、実態の把握及び分析を行った。その結果、コーディネーターの役割を担っている人は多様であり、学校教育の理解の程度や地域との関わりの程度には、知識・経験ともに大きな開きがあることが明らかになった。また、コミュニケーション力や、様々な提案をするための企画力や発表力も、様々であることが分かった。こうした実態を踏まえ、研修プログラムは、（表1）のような構造と

テーマ	項目	内容例
学校支援ボランティア活動の理解	生涯学習としての意義	・学びの場としてのボランティア活動 ・学習成果の活用場としてのボランティア活動
	ボランティア活動の意義	・ボランティアの特質 ・地域参加の意義
	学校支援ボランティア活動の特徴	・学校支援ボランティア活動の内容 ・学校支援ボランティア活動の意義
学校教育の理解	学校理解	・学校の運営 ・授業の様子 ・学校の規則
	子ども理解	・児童・生徒の特性 ・学校での生活
	学校・家庭・地域の連携	・学校教育の現状 ・学社連携の必要性
	危機管理	・事故やトラブルの予防と対応
コーディネーターの技法	コーディネーターの役割	・コーディネーターの意義 ・コーディネーターに求められるもの ・コーディネーターの役割
	活動組織との連携	・組織の中での役割
	情報の収集と活用	・地域の教育資源の把握 ・情報の活用方法
	地域の教育力の活用	・社会教育施設、機関、団体との連携
コーディネーターの業務	取組の実際	・コーディネーターの具体的な取組事例
	企画と評価	・学校支援ボランティア活動の企画の立て方 ・学校支援ボランティア活動とコーディネーターの評価の視点 ・新たな活動の提案の仕方
コミュニケーションの基礎	アサーション（注1）	・効果的な表現方法
	ファシリテーション（注2）	・集団への働きかけ方
	プライバシーと個人情報	・プライバシー、個人情報の保護
	人権	・人権保護の基礎知識

とし、次のような内容・規模とした。

【表

1】 研修プログラムの構造モデル

- ①対象者：コーディネーターの役割を果たすための基礎的な知識や経験が必ずしも十分とはいえない人を想定
- ②研修内容：学校支援ボランティアの活動の支援に必要な基礎的な知識や技術
- ③時間数：実際に行われている研修は、2日間（10時間程度）が最も多いことから実施可能な10時間程度を設定
- ④実施主体：○主として都道府県、政令指定都市での実施を想定
○市町村でも地域の実情に合わせて工夫を加えることによって活用が可能となるように汎用性を持たせた

テーマ	学習形態(時間)	項目	講師・発表者・進行役・参加者
学校支援ボランティア活動の理解	講義 (60分)	○生涯学習としての意義 ○ボランティア活動の意義 ○ボランティア活動の特徴	【講師】 教育委員会事業担当者
	事例発表 (60分)	○ボランティア活動の特徴	【発表者】 実践者(コーディネーター等)
学校教育の理解	講義 (60分)	○学校理解 ○子ども理解 ○学校・家庭・地域の連携 ○危機管理	【講師】 学校教職員(校長等) 教育委員会職員
	グループ討議 (60分)	○学校理解 ○子ども理解 ○学校・家庭・地域の連携	【進行役】 教育委員会職員 【参加者】 学校教職員 コーディネーター ボランティア
コーディネーターの技法	コーディネーターの役割	講義 (60分)	○コーディネートの意義 ○活動組織との連携 ○情報の収集と活用 ○地域の教育力の活用
	コーディネーターの業務	取組の実態 (90分)	○取組の実態
	グループ演習 (90分)	○企画と評価	【講師】 学識経験者(大学教授等) 実践研究者 【参加者】 学校教職員 コーディネーター
コミュニケーションの基礎	講義と演習 (120分)	○アサーション ○ファシリテーション ○プライバシーと個人情報 ○人権	【講師】 学識経験者(大学教授等) 実践研究者 【参加者】 学校教職員 コーディネーター

【表2】 研修プログラムの展開例

研修プログラムは、実施する自治体の方針や地域の実態に応じて独自の工夫を加えて実施されることが期待されるが、実施にあたって参考となるように展開例（表2）を示し、併せて、効果的な研修の進め方の提示も行った。

3 中期計画との関連性

中期目標の重点課題で示されている「学校と家庭、地域社会との連携協力の在り方」を踏まえ、地域におけるコーディネーター養成のためのプログラム開発を図ることができた。

4 研究成果の普及・広報

本調査研究の報告書は、都道府県、政令指定都市の教育委員会に配布する。併せて、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターのホームページに全文を掲載する。

5 今後の予定

本調査研究は、平成21年度で終了とする。今後、都道府県等において、本調査研究で開発した研修プログラムの普及及び活用を推奨していくとともに、当センターが実施する研究セミナー等で、それらの知見の活用を図る予定である。

6 本調査研究の報告書等

「社会教育を推進するコーディネーターの役割及び資質向上に関する調査研究報告書」

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（平成 20 年 3 月）

「学校支援ボランティア活動の推進方策に関する調査研究報告書」

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（平成 21 年 3 月）

「学校支援ボランティアの活動を支援するコーディネーターの養成等に関する調査研究報告書」国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（平成 22 年 3 月）

<http://www.nier.go.jp/jissen/chosa/houkokusyo0-0.htm>